



世界チャンピオンを氷川町から発信

日本人初プロレス世界チャンピオン
『マティ・マツダ写真展』

2月1日から28日の期間、河原地区の「カフェ銀杏の樹」において、日本人初プロレス世界チャンピオンマティ・マツダ(本名:松田萬次郎)さんの写真展が開催されました。

写真展を開催した理由は?

今回の写真展を主催した松田和彦さん(新村北)はマツダさんの弟の孫にあたります。

初めて世界チャンピオンになりながらもほとんどその存在を知られておらず、身内でありながら今までそ



▲チャンピオンベルトを巻くマツダ

マティ・マツダの主な略歴

- 1879年(明治12年) 現在の八代市鏡町の農家に生まれる。
- 1903年(明治36年) 日露戦争前に渡米しプロレスラーとなる
- 1915年(大正4年) 世界ミドル級王者を獲得
- 1918年(大正7年) 世界ウェルター級王者獲得
- 1929年(昭和4年) 試合中の怪我から骨髄炎を発症し死去(享年49)

※(展示資料から抜粋)

の存在を周知できなかったことから、八代の知られざる偉人を少しでも知ってもらいたいという気持ちで開催されたそうです。

松田さんは、「今回の展示会で少しでもマティ・マツダのことを知ってもらえたら、本人も喜ぶと思います」と話されていました。

マティ・マツダとは?

マティ・マツダさんは戦前に活躍したプロレスラーで、日本人で初めてプロレス世界王者に輝いた人です。

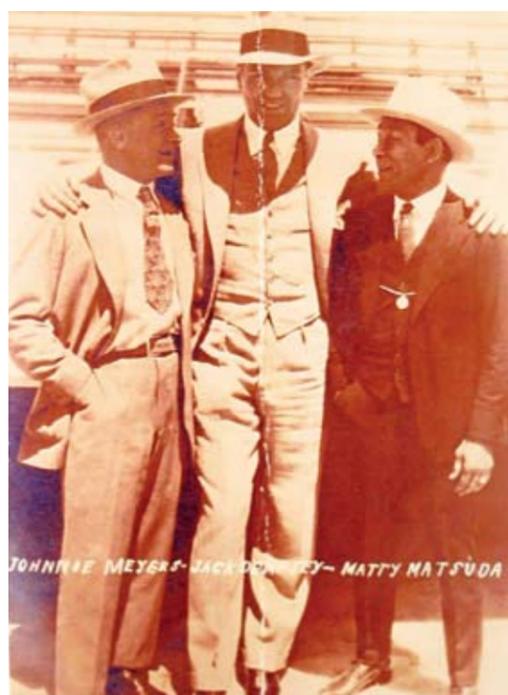
あまり知られていないのは当時の写真や資料がほとんど残っておらず、詳しいことが分からなかったからです。

どのような人だったのか?

少年時代から柔道や相撲で体を鍛え、正義感がとても強い人だったと言われています。

身長170センチ、体重85キロと、プロレスラーとしては小柄であったものの、技術と機敏な動きで世界チャンピオンに登りつめました。

また、ボクシング界の伝説の王者と呼ばれた「ジャック・デンプシー」と肩を組むマツダさんの写真があり、当時の認知度の高さがうかがえました。



▲「ジャック・デンプシー」(中央)と肩を組むマツダ(右)



▲当時の新聞や手紙などの貴重な資料も展示

寒さに負けない白熱したチームプレー

第12回町民体育祭冬季大会

2月5日、竜北体育センターおよび宮原体育館において、第12回町民体育祭冬季大会が開催されました。

カローリングの部では、ジェットローラーが傾斜で手前に戻ってくるハプニングもありましたが、予選から白熱したゲームが展開されました。

アジャタの部では、なかなか入らないボールに苦戦するチームも見られましたが、練習の成果を見せ、好タイムを記録するチームもありました。



▲開会式



▲選手宣誓。「打ち上げでも優勝目指します」



▲勝負の一投/ジェットローラーの行方は...

【平成29年冬季大会結果】

〈カローリングの部〉			〈アジャタの部〉		
優勝	有佐	佐宮	優勝	有佐	佐宮
準優勝	柳の江	今田	準優勝	柳の江	今田
第3位	椋	新	第3位	椋	新
第4位	立神	田	第4位	立神	田



▲応援にも熱が入ります



▲呼吸を合わせて「せーの!」



▲入念な作戦会議



▲アジャタの部優勝：有佐地区



▲カローリングの部優勝：有佐地区